

2014 都民芸術フェスティバル

1月11日(土)~3月30日(日) コンサートホール、プレイハウス、シアターウエスト ほか

詳細はP9~14へ



オーケストラから伝統芸能まで、東京の舞台芸術のスケール感を体験!

「都民芸術フェスティバル」は、東京を拠点に活躍する芸術団体や芸術家の舞台作品を、都内各所の劇場やホールで毎年1月から3月にかけて都民の皆様を紹介する文化事業。東京芸術劇場でも、在京8楽団が日替わりで演奏するオーケストラ・シリーズをはじめ、都内各地で伝承される民俗芸能を集めた東京都民俗芸能大会やモダンダンスの振付家の作品を紹介する現代舞踊公演などを開催しています。今回は個性派美女劇で注目

を集める演劇ユニットProject Nyxによる寺山修司作 冒険ファンタジー歌劇『宝島』も上演! 他の会場でも、オペラやバレエ、能や邦楽や日本舞踊など、各分野の現在を知ることができる公演が目白押しです。ぜひ公式サイトでチェックしてみてください。

<http://tomin-fes.com/>

主催:東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団

- ・オーケストラ・シリーズNo.45
1月14日(火) 23日(木) 30日(金)
2月4日(火) 21日(金)
3月9日(日) 13日(木) 26日(水) コンサートホール
- ・現代舞踊公演
1月15日(水)~16日(木) プレイハウス
- ・Project Nyx 第11回公演『宝島』
2月7日(金)~16日(日) シアターウエスト
- ・第45回東京都民俗芸能大会
3月1日(土)~2日(日) プレイハウス

Moving Distance

2月28日(金)~3月16日(日) アトリエイースト、アトリエウエスト ほか

詳細はP15へ

私たちの記憶を、存在を巡って。

東日本大震災後、宮城県山元町で回収・洗浄された写真があります。この写真が、私たちに訴えかけるのは、震災の記憶であるのと同時に、写真というメディアがもっているさまざまな特性です。デジタルメディアの登場によって、私たちの生活は大きく変わりました。便利になったこともあり、また一方で失われていくものもあります。このプログラムでは、山元町で回収された写真を展示し、またその写真をインスピレーションに、建築・漫画・文学・音楽・写真・映像・哲学・舞台芸術などさまざまな分野のアーティストが作品を発表します。その展示や作品は、アートを通して私たちの「存在」や「記憶」について考えるきっかけとなるでしょう。

参加作家:和合亮一(詩人)、卯月妙子(漫画家)、橋本和正(音楽家)、Lost&Found Project(写真)、world's end girlfriend(音楽) ほか



展示予定の写真より

お問合せ | 東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116 主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/豊島区 助成:平成25年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアティブ

JATDT舞台美術展2014「Pの間」問じる~舞台美術のPLAY・PLAN・PLEASURE

3月21日(金・祝)~30日(日) ギャラリー 1

詳細はP15へ



舞台美術のすべてがここに!

舞台を鮮やかに彩る舞台空間や衣裳はどのように生み出されるのか?

この展覧会では、舞台美術の創作過程を3つのキーワード=PLAY(発想)・PLAN(共有)・PLEASURE(喜び)から紐解きます。日本舞台美術家協会員による最新の舞台美術の模型、写真、イラスト、衣裳など200点以上を展示。また、舞台を創る多彩なクリエイターを招いての舞台創り座談会や、大人も子供も楽しめる舞台美術ワークショップも開催します。



今回(2014年)の展示プラン模型



2007年展示会場風景

主催:日本舞台美術家協会 後援:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)